

東京新聞 8月13日夕刊「自公との大連立に意欲」

野田財務相



野田財務相

自公との大連立に意欲

「救国内閣つくるべき」

野田佳彦財務相は十三日昼のテレビ東京の番組で、菅直人首相の後継を選ぶ民主党代表選に関連して、野党との協力関係について、「原発、財政など野党が胸襟を開いて話

し合っていくことが基本。救国内閣をつくるべきだ」と指摘。その上で「そのためには野党の皆さんに頭を下げて、正面玄関からお願

いしていただくから始めないとけない。連立でなければ、政治が前進しない」と述べた。

出馬の意向を固めている党代表選で勝利し、参院での「ねじれ」を解消するため、自民党や公明党に連立政権の樹立を呼び掛ける考えを表明した。代表選の選挙戦で、こつした方針を訴えて、支持拡大を目指す」とみられる。

番組後、野田氏は都内で記者団に「自民、公明両党の意見を踏まえて対応しないと、二〇一一年度第三次補正予算や二二年度予算が、ことと同じようにならなくなると、国民に申し訳ない」と述べ、自公両党との連立を目指す考えを強調した。

東京新聞 8月15日夕刊「震災復興は千載一遇のチャンス」

「震災復興は好機」

野田佳彦財務相は十四日と指摘。その上で、復興需のNHK番組で、デフレ脱却の拡大が経済成長につながることに期待感を示し、「東日本大震災と復興需要」の期待感を示し、野党から不適切と批判される可能性がある

野田氏、デフレ対策で発言

かという観点からする。番組の同席者が復興需要千載一遇のチャンスだ」と述べた。野田氏はデフレの原因を「需給ギャップが原因だ」と発言したのに対して答えた。需要が足りなかった。